

総務委員会会議録（要点筆記）

令和2年6月23日（火）

午前9時30分 開会

○竹内功治委員長

ただいまから総務委員会を開会します。

協議題1、「閉会中の調査事項について」を行います。当委員会の今年度の調査テーマ「新しい市民協働のあり方について」を行います。

総務委員会として進むべき方向性について、私なりの考えをまとめましたので、まずは、資料1をご覧ください。お目通しいただき、委員の皆さまからご意見等がありましたら仰っていただきたいと思えます。

暫く休憩します。

休憩 午前9時31分

<休憩中の主な協議事項>

・資料1について委員長から補足を含めて説明

❖市民協働推進計画より

- ・市民協働とは何か、市民協働の必要性、市民協働における「市民」の定義
- ・閉会中の調査テーマとした目的、経緯、半田市の市民協働の課題の洗い出し
- ・市民協働推進計画の更新については、今後、委員の意見を聴き、更新するか否かを決定すること。（市民協働課確認）

❖課題

- ・市民協働における「市民」のあり方
- ・現状「自治区」がメインとなっている⇒今後の担い手の確保
- ・NPOや市民活動団体の協力、連携

❖提言

- ・小学校区を中心とした幹となる部分の構築が必要ではないか。
- ・「市民」の各組織が協力、連携し、各組織の存続に繋がるように

◇連携する組織のイメージ⇒自治区・市民活動団体・学校（PTA）・NPOなど
新たな組織を作るというより、今ある団体がしっかりと横の連携をとっていくイメージ

◇ピラミッドをイメージすると、市と自治区の間に、1つ束ねる組織が入るとい
うことか⇒自治区、市民活動団体が「枝葉」で「幹」ができるということ

再開 午前9時41分

○竹内功治委員長

会議を再開します。

それでは、市民協働課長から「半田市の現状と課題について」説明をしていただきます。

皆さまに資料2としてお配りしています。こちらに、先ほど休憩中に話が出ました「図」がありますので、そういったことも含めてご説明いただければと思えます。

暫く休憩します。

休憩 午前9時43分

<休憩中の主な協議事項>

長谷川信和市民協働課長から資料に基づき説明

○現状と課題について

- ❖ 自治区、コミュニティが中心、横の繋がりがなく、横断的な繋がりが無い。
- ❖ 市民活動を支えてきた自治組織の役員の高齢化により担い手不足が生じている
- ❖ 市民活動団体はそれぞれ活動しているが、地域との関係が築けていない団体も多くあり、活動団体のノウハウが活かしていない。
- ❖ 団体でも後継者の不足が生じ、持続性が見いだせない
- ❖ 地域活動、市民活動、どちらも将来を見据えた運営にまでは至っていない

○今後について

- ❖ 少子高齢化、人口減少社会の中で、暮らしやすいまちづくりのために、今の活動を見直して、新しい組み立ての市民活動を検討していかなければいけない

○小学校区単位のコミュニティ＝新たな組織（コミュニティ）の構築

- ❖ 経緯：自治区の負担が増大し、負担軽減の手段を考える中で、自治区のもともとの地縁の仕事と、親睦を深めるための事業を分割し、自治区は地縁の仕事に集中して取り組み、親睦事業はもう少し大きい単位、枠組みで実施していくという意図

図で説明：今までは、「自治区」という太い幹を持った木があり、周りをNPOなどの枝葉が囲んでいたところを、木が痩せてきて、バランスが悪くなってしまっているので、周囲の枝葉であった部分が補うような形で、全体でバランスを取っていきましょう、というもの。

❖ 課題

- ・「自治区」と「コミュニティ」が地域側でうまく整理ができていない
⇒参加する住民も自治区の活動かコミュニティの活動かの区別がされていない
- ・ 区長さん方に、今後、小学校区コミュニティの必要性等を説明し、区長さん方にはご理解いただけても、役員の任期が1～2年であることから、推進に繋がらない
- ・ 自治区の加入率低下などに見られるように、市民の地域活動への参加意思の減退
- ・ 小学校区コミュニティと言うのは、今まで自治区単位で行ってきた事業を、一緒にやりましょうということでもあるので、今までの歴史、地域性等、難しい点がある
- ・ 自治区と小学校区の区割りが一致していない地域は、そもそも自治区とコミュニティの整理ができていないので、小学校区で纏めていくことが難しい
⇒小学校区コミュニティの構築は自治区の再編ではない

❖ 半田市の「コミュニティ推進協議会」について

Q 新しい小学校区コミュニティを構築した場合、主導となる人材が必要となると思うが、現在の行政協力員のように報酬等は支払われるのか、市側はどのように考えているか。
A 区長さんの仕事が地縁の事に限られてくるので、行政からお願いすることがそちらにシフトしてくるイメージです。自治振興費についても、現在は自治区にお渡しして、各自治区からコミュニティに納めるような形となっているが、新たなコミュニティ組

織に渡し、必要な分を各自治区に分配する形をイメージしています。

◇地域ごとに状況が異なるので難しい

◇これから、必要なことであるので、やらなければいけない

◇地域の担い手不足など、必要性については理解できるが、「やらされる」と受け止められると反発があると思う。

◇地域のひとの切れ目のない関係性をつくっていく新たなコミュニティをイメージしている

など

○竹内功治委員長

会議を再開します。こののち、今後のスケジュールについて調整を行いたいと思います。

15分程度休憩としますので、再開時には手帳等、ご自身のスケジュールのわかるものをお持ちください。暫く休憩します。

休憩 午前10時30分

再開 午前10時35分

○竹内功治委員長

休憩を解き、会議を再開します。

視察の日程について調整したいと思います。暫く休憩します。

休憩 午前10時36分

再開 午前10時44分

○竹内功治委員長

会議を再開します。

休憩中に「新しい市民協働のあり方」についてのご協議をいただきました。皆様の共通認識が図れましたので、今後、課題解決への提言に向け、調査、研究を進めていきたいと思いをします。

次に県外視察についてですが、皆さまの予定をお聞きしました結果

第1候補：1月13日（水）～15日（金）

第2候補：1月19日（火）～22日（金）の3日間

第3候補：11月25日（水）～27日（金）

で調整していきたいと思いをします。

視察先については、正副委員長で当局に相談しながら決定していきたいと思いをしますが、委員の皆さまからもご提案いただけるとありがたいです。よろしくお願いをします。

できるだけ、早い時期に決定したいと考えています。決定次第、委員の皆さまにメールでご連絡をさせていただき、ホームページなどから得た視察先の資料について事務局からお送りいたします。視察の日程が決定後、視察の1か月半前くらいに視察前勉強会を行い、視察先への事前質問についてご協議いただき、とりまとめ、視察先に送付したいと思いをします。

次回の委員会については、8月下旬に事業評価のテーマ決めを行いたいと思いをします。詳細については改めて日程の調整をさせていただきます。

この件について、委員から何かございせんか。

○坂井美穂委員

小学校区単位のコミュニティについて、インターネットで調べましたところ、田原市の資料が具体的かつわかりやすいと思いましたが、参考になるのではないかと思います。

○竹内功治委員長

ありがとうございます。

今後、県内視察についても、必要な場合は実施していきたいと思しますので、田原市の資料を見させていただきます。

他にございませんか。

【 「なし」との声あり 】

ないようですので、この件はこれで終了します。

続きまして、協議題2、その他について行います。

決算審査の資料請求について、新たに必要な資料がある場合は16日を期限に事務局に連絡をお願いしていましたが、追加の資料要望はありませんでした。昨年同様の資料を請求することとしてよろしいでしょうか。

○石川英之委員

昨年請求した資料について、今年も全て必要でしょうか。この全てが必要と委員の総意でしょうか。私は、この中の半分は必要ないと思います。

○竹内功治委員長

暫く休憩します。

休憩 午前10時50分

◇資料の要・不要について1項目ごとに協議

再開 午前10時55分

○竹内功治委員長

会議を再開します。

休憩中にご協議いただき、請求する資料を決定しました。(別紙のとおり)

この件について、委員から何かございませんか。

【 「なし」との声あり 】

ないようですので、この件はこれで終了します。

以上で本日予定しておりました議事は全て終了しました。他に何かございませんか。

【 「なし」との声あり 】

ないようですので、これをもちまして総務委員会を閉会します。

午前10時58分 閉会